

2010年3月28日

第3回東京国際科学フェスティバル参加募集要項

1. 概要

科学を楽しみ、技術に親しむお祭り、「東京国際科学フェスティバル(TISF)」。「地域の絆を世界の絆に」をモットーに、大人も子どもも全ての人々が科学を楽しむ文化を地域に広げ、『科学好き市民』のコミュニティを形成していきましょう。このフェスティバルによって、科学文化の街としての観光資源が創出され、また、市民と企業、大学・研究機関、生涯学習施設、学校教育機関関係者との間のコミュニケーションが高まり、地域の文化、産業、生活のさらなる活性化に繋がることとなります。

特に、東京には国内外に向けて情報発信をしている大学、研究機関、地場産業、博物館などが居住地域のなかに密集し、科学、技術、文化が、生活の場と隣り合わせで存在しています。また、国際的な草の根交流が盛んであることもこの地域の特徴です。この地域の特徴を活かし、2011年秋、第3回を開催します。

2011年は国際森林年(Forests 2011)、世界化学年(IYC2011)と定められています。世界中の森林の持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高める年であり、キューリー夫人のノーベル化学賞受賞から100年目に当たり化学に対する社会の理解増進、若い世代の化学への興味の喚起、創造的未來への化学者の熱意の支援などを進める年です。

地域の中心となる機関・施設から科学を楽しむ活動に関心のある個人の方まで、このプロジェクトへの参加を、幅広く募集します。

名称： 第3回東京国際科学フェスティバル
期間： 2011年9月10日(土)～10月10日(月) 31日間
主催： 東京国際科学フェスティバル実行委員会
会場： 都内全域
テーマ： 科学を文化に

2. 募集期間

2011年4月1日(金) エントリー受付開始

※ 受付終了時期は、会員種別によって異なります。「5. 参加方法」をご覧ください。

3. 参加資格

科学館・博物館、大学・研究機関、教育関係者、研究・技術者、企業、NPO、一般市民など、法人格の有無を問わず、本募集概要(趣旨)に賛同し、規則(別紙)を遵守していただける、あらゆる個人・グループ・団体からの参加を受け付けます。

4. 募集内容

参加形態は次の4つの項目で募集します。複数にまたがってエントリーすることも可能です。

(A) 拠点会員

TISFと連動して企画群を主催する、将来的には年間を通じた科学文化活動拠点を目指す自治体・研究機関・科学館・NPO・市民グループなどの団体。会員は、拠点連絡会へ参加し、TISF全体との連動のあり方について共に協議し、協調して展開するものとする。

(B) 企画会員

個別企画を自ら実施することでTISFに参加する、自治体・研究機関・科学館・NPO・市民グループ・個人など。各企画の会場確保、運営等は各会員が自立して行えるものとする。

(C) スタッフ会員

TISF 実行委員会が主催する企画グループに参加し、ワークショップを通じて共同で企画・実施を行う市民グループ・個人など

(D) 出展会員

用意された会場にブース・ポスター展示が可能な企業・研究機関・科学館・NPO・市民グループ・個人など。

※TISFにおいて、企画は次の3つの項目それぞれのいずれかに当てはまるものとします。(ここでいう「科学」は広い意味での科学、数学、技術、人間・社会科学を含みます。)

○想定する対象者

- A-1 親子連れや小学生以下を想定
- A-2 中学生以上の一般市民を想定
- A-3 専門知識や高い関心をもつ人を想定

○企画の形式

- B-1 講演型：シンポジウム、セミナー、報告会
- B-2 参加型：工作・実験教室、サイエンスカフェなど
- B-3 ショー形式：実験ショー、演劇、演奏会、映像上映会など
- B-4 展示型：ポスター・ブース展示など
- B-5 ネットワーク型：WEB・携帯電話などを用いたもの
- B-6 その他：いずれにも当てはまらない形式

○企画のテーマ

- C-1 自然科学
- C-2 応用科学
- C-3 工学・技術
- C-4 生活の中の科学
- C-5 楽しい科学
- C-6 楽しい技術
- C-7 科学と芸術
- C-8 科学と社会
- C-9 人間・社会科学
- C-10 科学教育・科学コミュニケーション
- C-11 最新研究成果
- C-12 その他

5. 参加方法

参加を希望される方は、東京国際科学フェスティバルwebサイトに設置されるフォームよりガイダンスに従いそれぞれエントリーをしていただきます(4月1日より受付開始予定)。

内容を承認の後、TISF 実行委員会会員として登録されます。

(A) 拠点会員 【登録期限：6月25日】

拠点連絡会で相互に承認され会員となります。

(B) 企画会員 【登録期限：6月25日】

プロデューサ・オフィスにて申込企画の内容を審査後、承認を受けて会員となります。

(C) スタッフ会員 【登録期限：5月14日】

プロデューサ・オフィスにて申込承認後、会員となります。5月下旬より開始するワークショップに参加していただきます。

(D) 出展会員 【登録時期は7月中旬予定。別途告知】

会場・日程が決定後、7月初旬を目処に出展内容の登録を開始。プロデューサ・オフィスにて申込承認後、会員となります。出展料がかかります。

【参加にかかる諸費用について】

- 参加登録費用を無料といたしました。 ~~＝会員＝1,000円~~

JST 地域ネットワーク支援事業「東京サイエンスネットワーク」からの経費支援が確定しましたので、本年度の会員参加においては参加登録費を徴収しないこととなりました。(方針の中途変更となりましたことにつきご理解賜りますよう何卒お願い申し上げます。)

■出展料

ブース部材等、出展に関する施設・設備の利用にかかる実費相当分を、出展料としてご負担いただきます。出展会場等の詳細決定後にご案内いたします。

(提出/問い合わせ先)

自然科学研究機構 国立天文台 天文情報センター 東京国際科学フェスティバル係

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

TEL: 0422-34-3802 FAX: 0422-34-3812

E-mail: apply2011@tokyo.sci-fest.net URL: <http://tokyo.sci-fest.net/>

6. 参加にあたっての留意事項

※以下のような内容での参加は募集の対象となりません。

TISF内での実施に支障があるとプロデューサ・オフィスにおいて判断された場合は、会員として承認されない、また承認が取り消される場合があります。

- ・ 科学・技術の紹介・普及・教育等ではなく、実施団体などの営利もしくは営利の宣伝、政治的・宗教的アピールを主たる目的とした色彩の強いもの
- ・ 科学（文化）に関連の薄いテーマを取り上げるもの
- ・ 特定の団体の構成員、会員のみを対象とするもの
- ・ 実施の実現性が薄い、その他相応しくないと判断されるもの

(全会員種別について)

- ・ 申込にあたっては、テーマを意識した参加を歓迎します。
- ・ エントリーいただいた内容は、プロデューサ・オフィスにて確認し、参加の可否について連絡いたします。(外部有識者等に意見を伺い、判断する場合があります。)
- ・ プロデューサ・オフィスから、他の企画との連携や、企画を構成する要素の追加・一部割愛などの提案や内容の修正をお願いすることがあります。
- ・ TISF実行委員会の主催企画において、簡単な活動紹介等を依頼する場合があります。
- ・ TISF実行委員会から、関係者の見学や報道機関等の取材・撮影の協力をお願いすることがあります。
- ・ 参加者は、イベント実施者として十分な注意を払い、特に事故の防止にくれぐれも留意してください。

(企画を個別に実施される拠点・企画会員の方へ)

- ・ 企画の会場・時間枠は、企画者側で確保されることを基本とします。
- ・ 応募の段階で、実現可能性を有する具体的な内容をご登録ください。承認後は原則として企画通り実施するものとし、内容に大きな変更がある場合は申告の上再度承認を受けて下さい。
- ・ 個々の企画の直接的な集客・宣伝及びイベント参加者登録等は、基本的に、各企画者が行うものとします。

第3回東京国際科学フェスティバル参加募集要項 v.2.0

- ・ 場所の確保が困難な場合で、実行委員会が用意する会場にてポスター・ブース展示等を希望される方は、別途予定しております出展会員としてエントリーください。
- ・ プロデューサ・オフィスから、会場・時間枠について変更が可能かどうか相談する場合があります。

7. 報告の提出・アンケートへの協力等

- ・ フェスティバル実施後、アンケートや調査などへの協力をお願いします。
- ・ 参加者数、自己評価、記録写真など、企画の実施報告をお願いする予定です。

以上

第3回東京国際科学フェスティバル実行委員会規則

(名称)

第1条 本会は「第3回東京国際科学フェスティバル実行委員会」と称する。英文では「Organizing Committee for the 3rd Tokyo International Science Festival」といい、TISF2011 Organizing Committee と略称する。

(目的)

第2条 科学を楽しみ、技術に親しみ、科学技術に対する理解を深めることによって、共に豊かに生きる地域文化が醸成され、活気ある持続的社會が創成されることを目指し、第3回東京国際科学フェスティバルを開催する。

(活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の各号に掲げる活動を行う。

- 一 三鷹市を中心に調布市、府中市、武蔵野市、小金井市、国分寺市など都内全域における科学技術の教育、研究、理解増進に関わる団体、機関、個人等との連携を推進し、そのために必要な企画・連絡・調整を行う。
- 二 地域における教育・産業・観光・社会生活に関わる団体、機関、個人との連携を推進し、科学術に基づく地域社會を創成する。
- 三 広報活動を組織的に行うとともに、目的達成のための情報を収集する。
- 四 必要に応じて資金の調達を行う。

(会員)

第4条 第2条および第3条の趣旨に賛同する団体および個人は、次に定める本会組織による所定の承認により、会員となることができる。

(組織)

第5条 第2条の目的を達成するために本会は次の各号に掲げる組織をおく。

- 一 顧問会議
 - 二 拠点連絡会
 - 三 プロデューサ・オフィス
- 2 前項の各組織の構成はそれぞれ次の各号の定めるところによる。
- 一 顧問会議は5名以上の議員（うち議長1名）で構成され、東京サイエンスネットワーク推進委員会の承認により構成員となる。
 - 二 拠点連絡会は東京サイエンスネットワーク推進委員会が任命した実行委員長1名と、各拠点（イベント）の担当者が複数名、総合プロデューサ1名、事務局によって構成され、第4条で定めた会員は拠点連絡会の承認により構成員や事務局メンバーになることができる。
 - 三 プロデューサ・オフィスは実行委員長によって任命される担当で構成される。
- ※ 東京サイエンスネットワーク推進委員会はJST 地域ネットワーク支援を国立天文台が受託し、東京サイエンスネットワーク事業を実施するにあたり設置され、東京サイエンスネットワーク事業の提案・実施・参加機関等に属するものから構成される。

(各組織の任務)

第6条 本会の各組織の任務は次の通りである。

- 一 顧問会議 本会の活動が円滑に行われるように、プロデューサ・オフィスに対して必要な助言を行う。
- 二 拠点連絡会 各拠点（イベント）の活動が円滑に行われるように連絡調整を行う。
- 三 プロデューサ・オフィス 本会として全体・共同で行うべき事業等を立案・推進する。総合プロデューサにより統括され、事業等は東京サイエンスネットワーク推進委員会に報告する。

（会計）

第7条 本会の運営および全体・共同で行う事業に要する費用は、競争的資金、協賛・寄付金、その他の収入によって支弁する。資産管理の方法は、プロデューサ・オフィスが定めるものとする。会計期間は存続期間と同じとする。

（会計監査）

第8条 プロデューサ・オフィスは、会員の中から会計監査にあたる者2名を選任する。会計監査にあたる者は、会計監査の結果を東京サイエンスネットワーク推進委員会に報告する。

（存続期間）

第9条 本会は、東京サイエンスネットワーク推進委員会により承認された日を設立の日とし、設立日から2012年3月31日までを活動期間とする。

（清算手続き）

第10条 前条に定める存続期間の経過後、本会の清算手続きを行う。

（解散）

第11条 清算手続きの終了をもって、本会は解散する。

（規則の改廃）

第12条 本規則の改廃は、東京サイエンスネットワーク推進委員会の決議による。

附記

2011年2月28日 「東京サイエンスネットワーク推進委員会」により承認

2011年3月30日 表記統一等の修正